



エコアクション21
認証・登録番号0000922

環境活動レポート

2017年度（2017年5月～2018年4月）



大場機工株式会社

2018年7月2日発行

OHBAKIKO CO., LTD

目次

1. 組織の概要	2 P
2. 対象範囲	4 P
3. 環境方針	5 P
4. 環境目標	6 P
5. 環境活動計画	7 P
6. 環境目標の実績	8 P
7. 環境活動計画の取組結果と その評価、次年度の取組内容	1 4 P
8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無	1 6 P
9. 代表者による全体評価と見直しの結果	1 7 P

1. 組織の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

大場機工株式会社
代表取締役 大場正晴

(2) 所在地

本社/工場 〒418-0037 静岡県富士宮市安居山44番の8
TEL : 0544-27-6066
FAX : 0544-27-6214
敷地 : 10,500㎡
建物 : 3,500㎡

第2工場 〒419-0316 静岡県富士宮市羽鮒69-1
TEL : 0544-65-2188
FAX : 0544-65-2466
敷地 : 10,000㎡
建物 : 3,000㎡



◎本社/工場



◎第2工場

【沿革】

昭和46年 大場機工を創業
昭和56年 大場機工株式会社に改組
昭和61年 パイプの引抜加工を始める
平成 4年 光事業部を新設
平成18年 エコアクション21認証取得
平成19年 本社敷地内に北工場を新設
平成20年 静岡県富士宮市羽鮎にて第2工場稼働
平成22年 ISO9001認証取得
平成25年 第2工場敷地内に事務所を新設
平成28年 本社駐車場増設①
平成29年 本社駐車場増設②

(3) 環境管理責任者

管理部 業務課 望月洋明

(4) 連絡先

連絡担当者：管理部 業務課 望月洋明
TEL :0544-27-6066 FAX:0544-27-6214
MAIL : hiroaki@ohbakiko.co.jp

(5) 事業内容

ステンレスパイプの製造、2次加工及び
プラスチック光ファイバー製品の加工、組立、試作、販売



◎第2工場事務所

(6) 事業規模

年 度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
売 上 高 (万円)	148,200	145,800	134,500	133,000	152,800
従 業 員	108名	107名	107名	100名	98名
本 社 敷 地	7,000m ²	7,000m ²	7,000m ²	10,000m ²	10,500m ²
本 社 建 物	3,500m ²				
第2工場敷地	10,000m ²				
第2工場建物	3,000m ²				

2. 対象範囲

(1) 認証、登録範囲

全組織、全活動、全従業員を対象とし、全社的に取り組む

(2) レポートの対象期間及び発行日

対象期間：2017年5月～2018年4月

発行日：2018年7月2日

3. 環境方針

基本理念

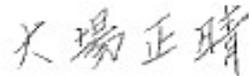
『環境活動が、地球環境に関わる影響を認識し、
全従業員が環境保全及び環境汚染防止に努め、よりよい企業活動を行う』

行動方針

1. 環境関連法規制及び当社が同意した協定等は確実に遵守します。
 2. 電力、燃費の消費に伴う二酸化炭素排出量削減に努めます。
 3. 4R運動を推進し、省資源・廃棄物の低減に努めます。
 4. 水資源使用量の削減と適正使用に努めます。
 5. 事業活動で使用する化学物質使用量を抑制します。
 6. 事業活動において使用する資源・設備・販売製品等は、環境に考慮したグリーン調達を推進します。
 7. 製品の製造・容器包装・廃棄・リサイクルを通じて、環境に配慮します。
- 以上の環境方針は、全従業員に周知させるとともに環境活動レポートを社外に公開します。

平成19年6月14日制定
平成26年6月18日改訂

大場機工株式会社

代表取締役 

4. 環境目標

活動項目	環境目標	単位	H25年度 (基準年)	H27年度 (基準年)	H28年度目標 H25年度対比	H29年度目標 H27年度対比	H30年度目標 H27年度対比
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	487,980	443,599	470,900	434,727	430,291
					-3.5%	-2.0%	-3.0%
	購入電力量 排出係数 0.525kg-CO2/kwh	kwh	854,875	789,135	824,954	781,243	773,352
					-3.5%	-1.0%	-2.0%
	ガス使用量	kg	1,487	1,516	1,457	1,485	1,478
					-2.0%	-2.0%	-2.5%
ガソリン使用量	ℓ	5,581	6,556	5,469	6,424	6,392	
				-2.0%	-2.0%	-2.5%	
灯油使用量	ℓ	6,692	2,108	6,544	2,055	2,044	
				-2.2%	-2.5%	-3.0%	
水資源 使用量	水道使用量	m ³	6,273	5,552	6,022	5,440	5,413
					-4.0%	-2.0%	-2.5%
廃棄物 排出量	可燃物排出量	t	4,815	4,940	4,742	4,841	4,767
					-1.5%	-2.0%	-3.5%
	廃プラスチック排出量	t	1,956	1,644	1,926	1,619	1,611
					-1.5%	-1.5%	-2.0%
コピー用紙使用量	kg (枚)	606 (150,000)	686 (170,000)	593 (147,000)	675 (167,450)	668 (165,750)	
				-2.0%	-1.5%	-2.5%	
グリーン購入 比率	%	—	40.66	他社の取組 み状況調査	41.47	41.87	
					+2.0%	+3.0%	
製品/サービス ステンスくずの削減	kg	—	11,672	製造歩留り の向上	11,438	11,380	
					-2.0%	-2.5%	
化学物質使用量	kg	54,000	43,000	52,812	42,570	41,710	
				-2.2%	-1.0%	-3.0%	

5. 環境活動計画

取組項目		取組内容
二酸化炭素 排出量	購入電力量	<ul style="list-style-type: none"> ●エアコン設定温度は各事務所夏28度、冬20度(全社) ●ケルビスの実施6/1~9/30(全社) ●省エネ機器、節電商品の導入推進(全社) ●昨年実績に対する電気使用量削減(光事業部)
	ガス使用量	<ul style="list-style-type: none"> ●ガス使用量の把握(加工事業部) ●化学研磨処理作業記録による経過観察(加工事業部)
	ガソリン使用量	<ul style="list-style-type: none"> ●エコドライブ推奨(急発進、急加速、エアコン、空気圧点検)(全社) ●燃費管理 ※平均燃費で評価(管理部) ●低燃費車の優先使用 ※年間走行距離で評価(管理部)
	灯油使用量	<ul style="list-style-type: none"> ●ボイラー撤廃後の経過観察(ハイツ事業部)
水資源 使用量	水道使用量	<ul style="list-style-type: none"> ●井戸水の活用(ハイツ事業部) ●始業前水道メーター確認による使用量確認(加工事業部)
廃棄物 排出量	可燃物排出量	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年データ取りした可燃物排出量の削減(管理部) ●不要郵便物、不要FAXの状況把握(管理部)
	廃プラスチック排出量	<ul style="list-style-type: none"> ●矯正ゴムの材質変更によるリサイクル量の把握(ハイツ事業部)
	コピー用紙使用量	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷前のプレビュー画面での確認の徹底(管理部) ●裏紙、両面印刷の使用量割合を上げる(加工事業部) ●昨年実績に対するコピー用紙使用割合の向上(加工事業部)
グリーン調達		<ul style="list-style-type: none"> ●環境への影響が少ない商品へ切り替え(ハイツ事業部) ●ソルアリアーナグリーン購入額の前年度対比+2%(管理部) ●含有調査確認：①ROHS ②欧州REAC ③PFOSなど(全社) ●主要製品のAIS取得(光事業部)
製品/サービス		<ul style="list-style-type: none"> ●ハイツ造管歩留まりの把握(ハイツ事業部) ●現有材販売の推進(管理部)
化学物質使用量		<ul style="list-style-type: none"> ●回収装置導入後の化学物質使用量の把握(ハイツ事業部)

6. 環境目標の実績

(1) 二酸化炭素排出量

東京電力平成24年度実排出係数0.525kg-CO2/kwh

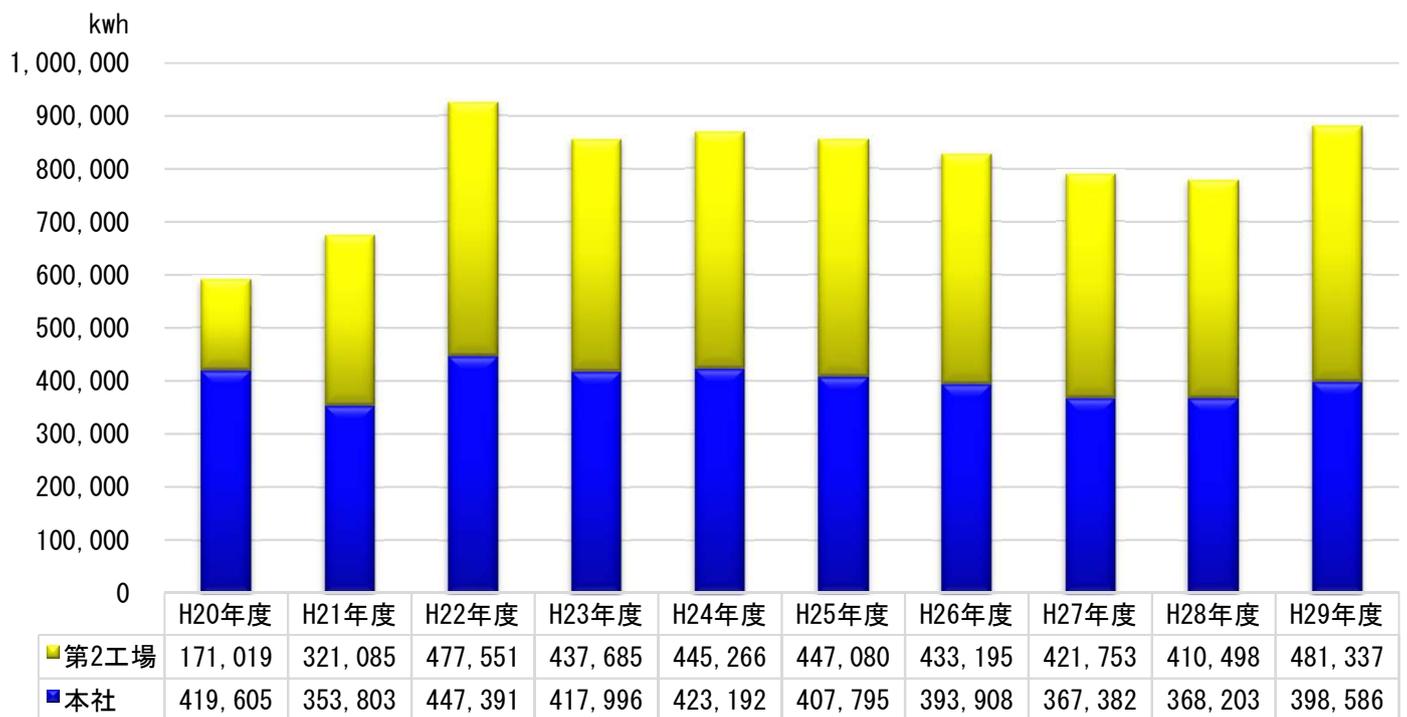


ガソリン以外は、目標に対して未達となりました。特に灯油使用量は、『化学薬品回収装置』の導入により、大幅に目標を上回りました。今年度は、灯油使用量と化学物質使用量の相関性を調査していきます。

H27年度実績対比	-2.0%
年度目標	434,727kg-co2
年度実績	513,903kg-co2
目標差	+79,176kg-co2
目標対比	118.21%

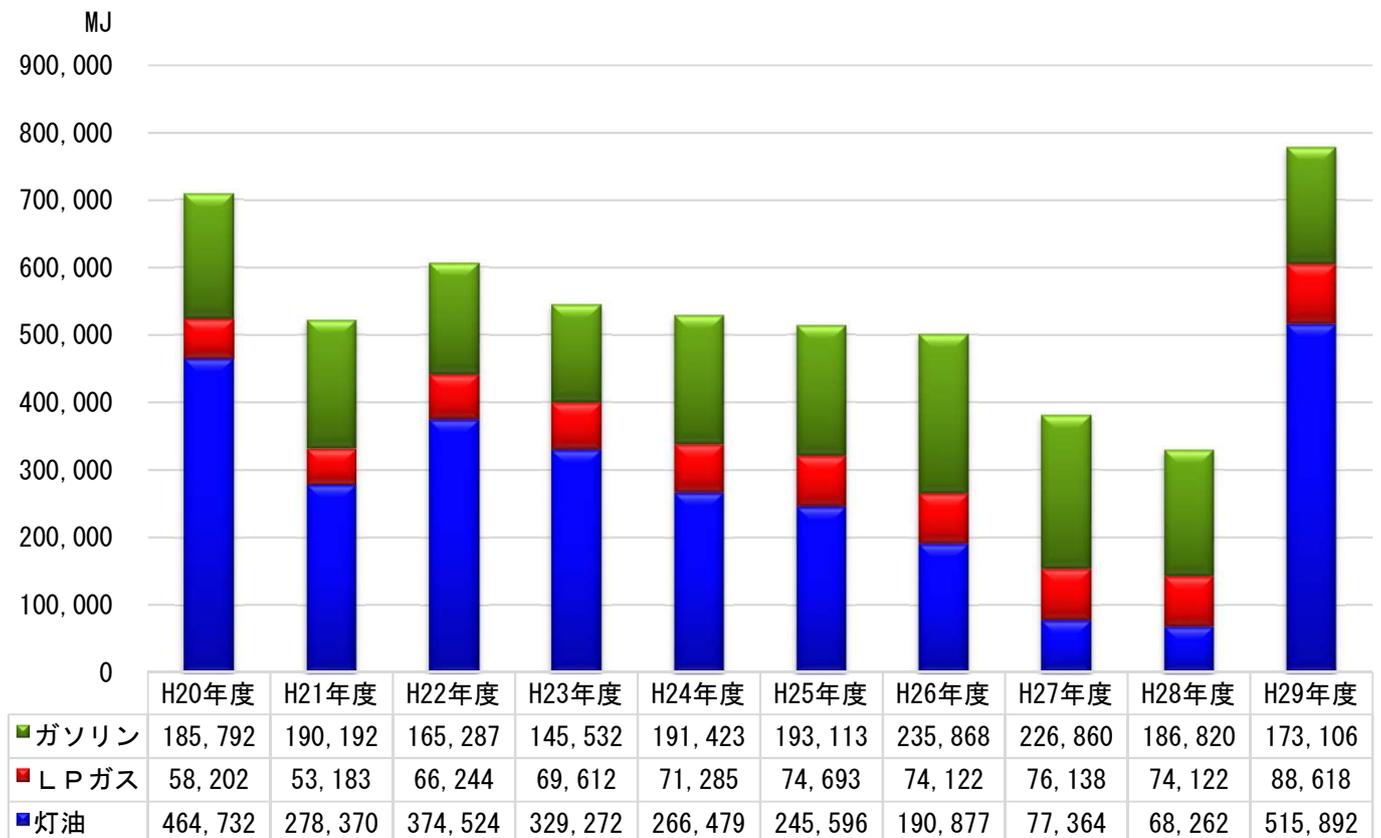
—	電力(kwh)	ガス(kg)	ガソリン(ℓ)	灯油(ℓ)
H27年度実績対比	-1.0%	-2.0%	-2.0%	-2.5%
年度目標	781,243	1,485	6,424	2,055
年度実績	879,923	1,765	5,003	14,057
目標差	+98,680	+280	-1,421	+12,002
目標対比	112.63%	118.85%	77.87%	684.03%

(2) 購入電力量



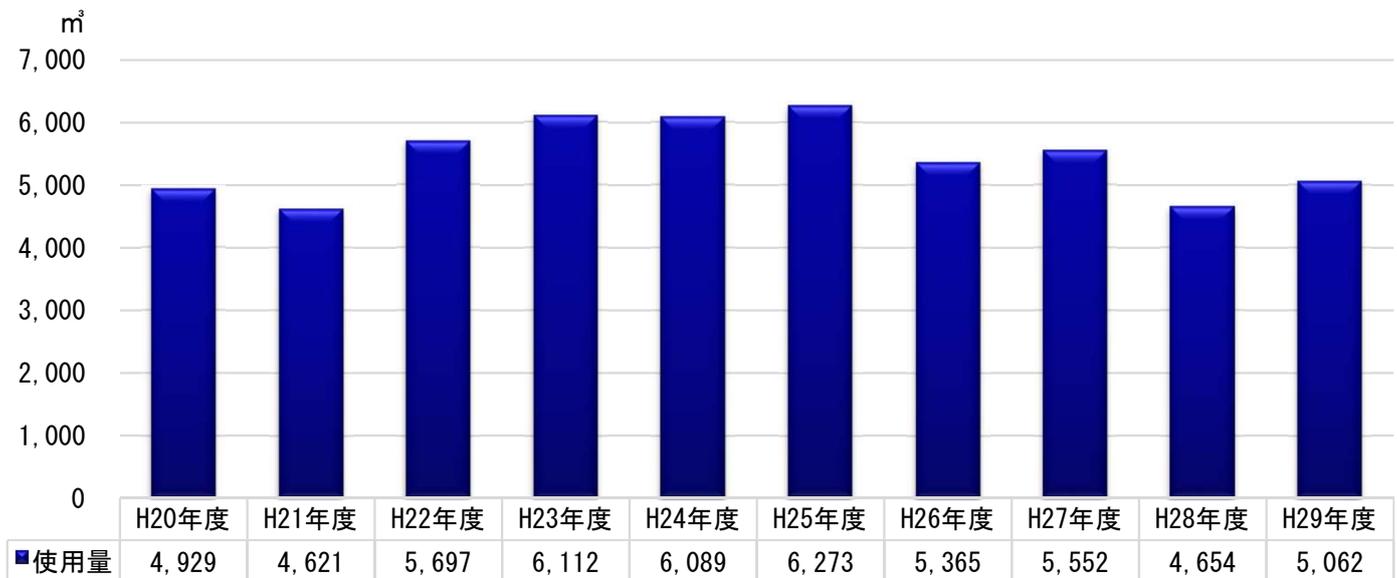
目標及び昨年の実績を上回る結果となりました。
今年度は、照明のLED化を推進していきます。

(3) 化石燃料



社用車の燃費管理を継続し、低燃費車の優先使用推進の効果がでています。

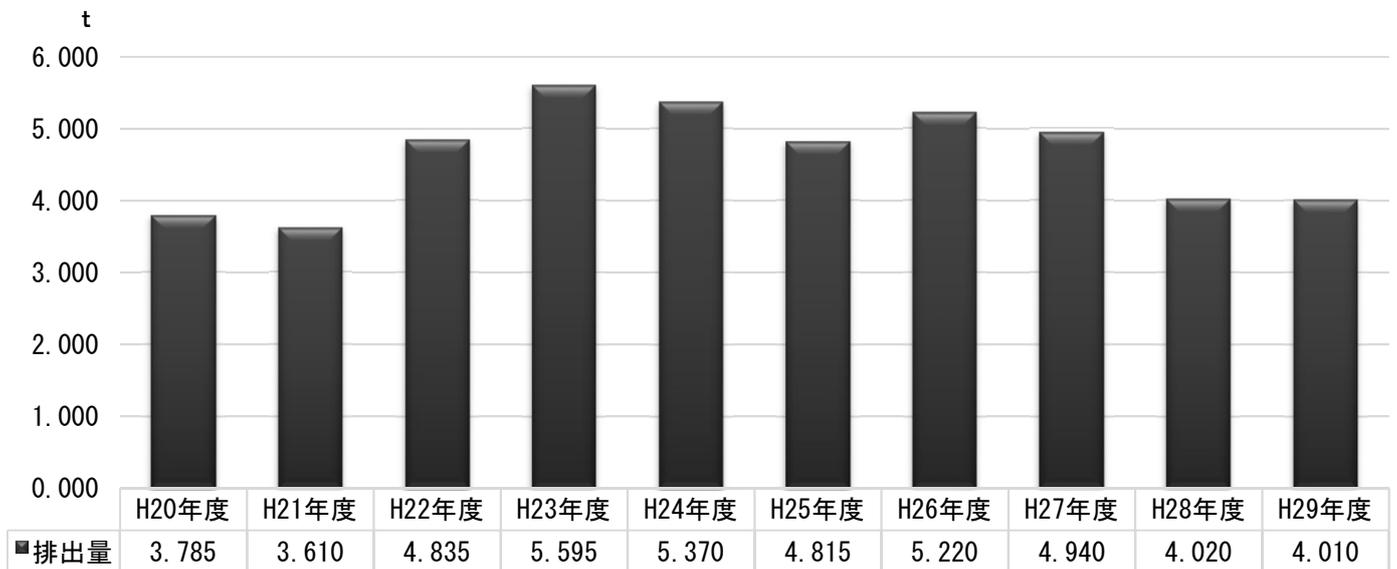
(4) 水資源使用量



H26年度から4年連続で目標達成となります。
 本社では始業前の使用量確認及び漏水チェック、
 第2工場では井戸水の活用を継続して行っています。

H27年度 実績対比	-2.0%
年度目標	5,440m ³
年度実績	5,062m ³
目標差	-378m ³
目標対比	93.05%

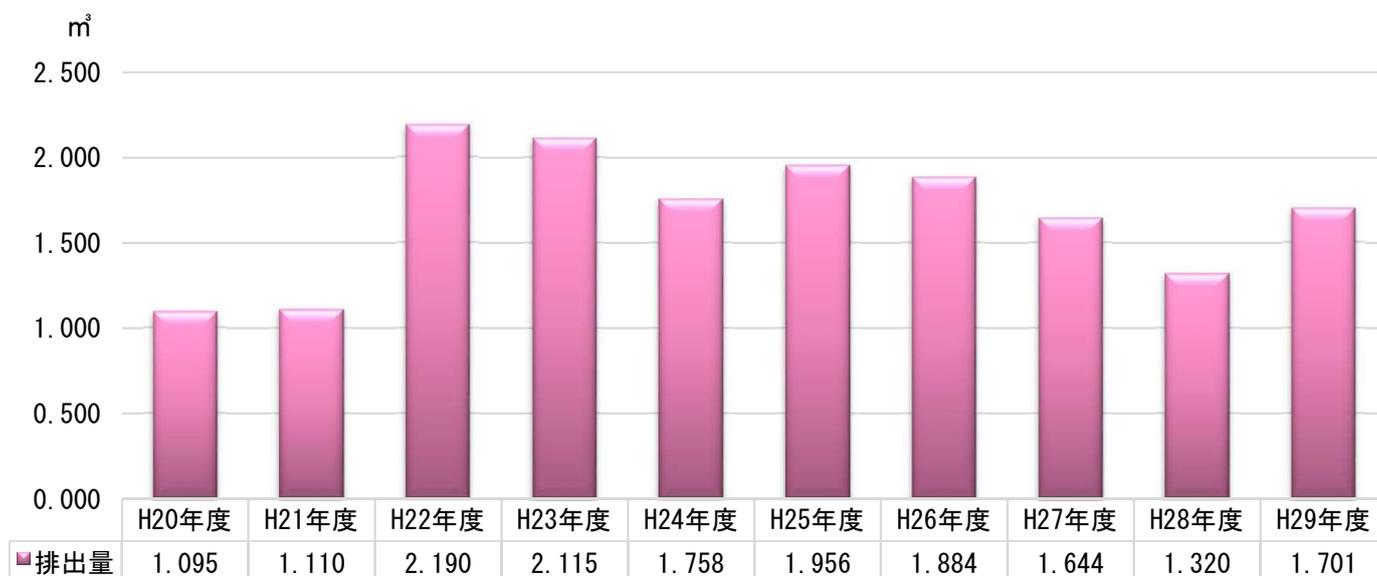
(5) 可燃物排出量



2年連続で目標達成となります。
 A4用紙のリサイクル化、裏紙の活用により可燃物排出量の削減に繋がりました。

H27年度 実績対比	-2.0%
年度目標	4.841t
年度実績	4.010t
目標差	-0.831t
目標対比	82.83%

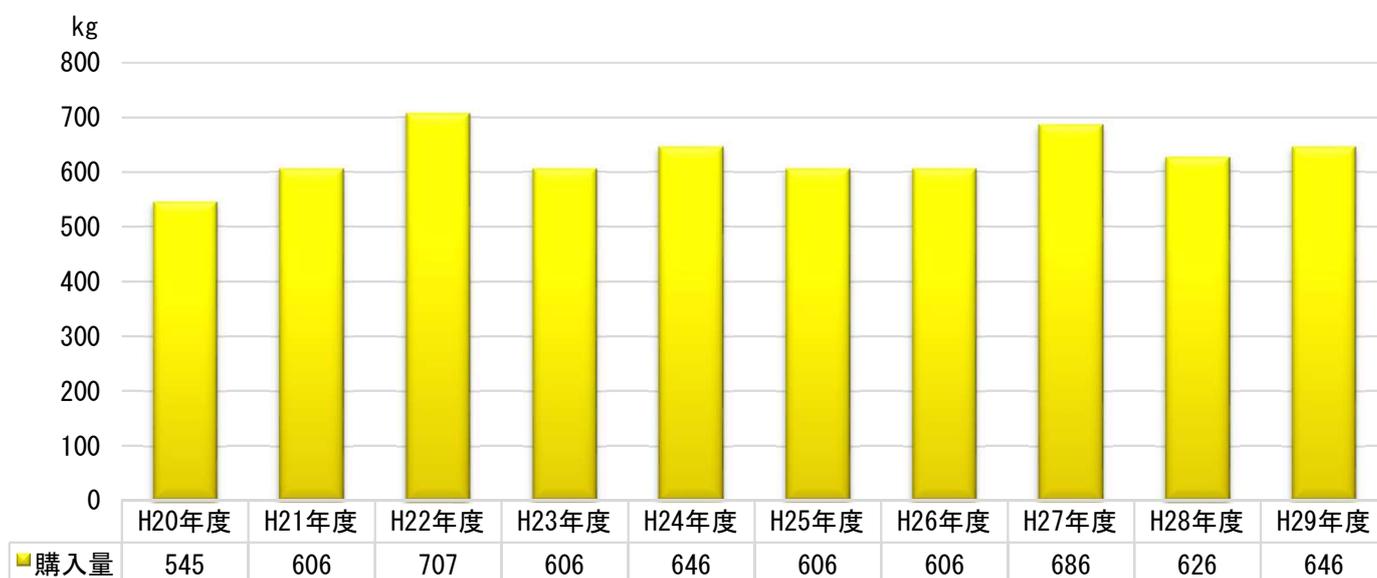
(6) 廃プラスチック排出量



矯正ゴムの材質変更により、有効時間の延長に成功しましたが目標は未達となります。
生産量との関連性もありますので、経過観察に努めていきます。

H27年度実績対比	-1.5%
年度目標	1.619t
年度実績	1.701t
目標差	+0.082t
目標対比	105.06%

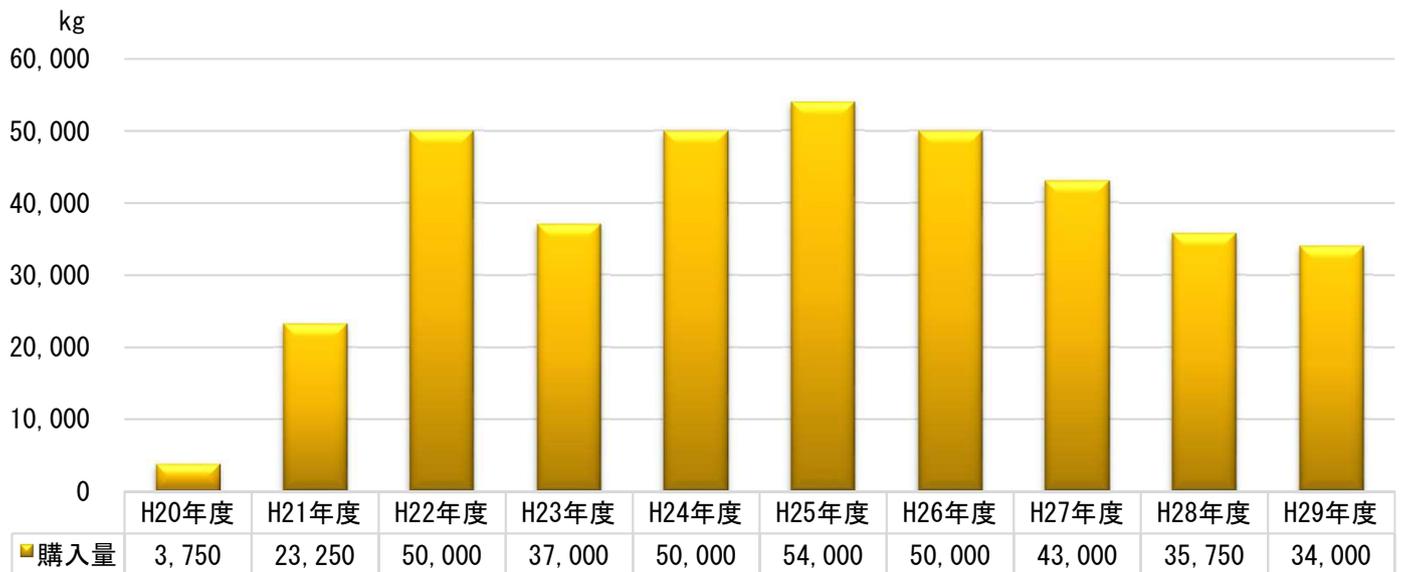
(7) コピー用紙使用量



加工事業部で実施をしたA4用紙の裏紙の活用がコピー用紙の使用削減に繋がり目標達成となりました。

H27年度実績対比	-1.5%
年度目標	675kg (167,450枚)
年度実績	645kg (160,000枚)
目標差	-30kg (-7,450枚)
目標対比	95.55%

(8) 化学物質使用量



3年連続で目標達成となります。

『化学薬品回収装置』の導入/稼働により、今年度は、化学物質使用量の削減に繋げていきます。一方で温度管理の為、灯油使用量が増えますので、化学物質使用量と灯油使用量のデータ収集に努めていきます。

H27年度 実績対比	-1.0%
年度目標	42,570kg
年度実績	34,000kg
目標差	-8,570kg
目標対比	79.86%

活動項目	環境目標	単位	H27年度 (基準年)	H29年度 目標	目標達成率 H29年度 実績	評価
二酸化炭素 排出量	二酸化炭素排出量	kg-CO2	443,599	434,727	513,903 118.21%	×
	購入電力量 排出係数0.525kg-CO2/kwh	kwh	789,135	781,243	879,923 112.63%	×
	ガス使用量	kg	1,516	1,485	1,765 118.85%	×
	ガソリン購入量	ℓ	6,556	6,424	5,003 77.87%	○
	灯油購入量	ℓ	2,108	2,055	14,057 684.03%	×
水資源 使用量	水道使用量	m ³	5,552	5,440	5,062 93.05%	○
廃棄物 排出量	可燃物排出量	t	4.940	4.841	4.010 82.83%	○
	廃プラスチック排出量	t	1.644	1.619	1.701 105.06%	×
	コピー用紙購入量/使用量	kg	686 (170,000)	675 (167,450)	645 95.55%	○
グリーン購入比率		%	40.66	41.47	36.03 86.88%	×
製品/サービス ステンレスくずの削減		%	11,672	11,438	12,102 105.80%	×
化学薬品購入量		kg	43,000	42,570	34,000 79.86%	○

7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

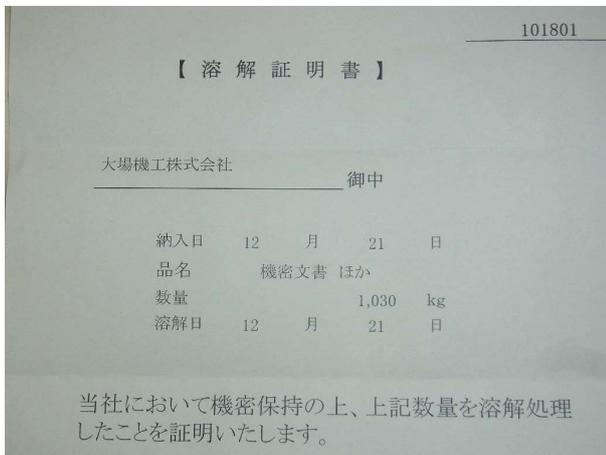
活動項目	環境目標	H29年度各部の重点活動内容		評価/コメント	H30年度各部の重点活動内容
二酸化炭素排出量	購入電力量	■光事業部 使用量の削減 前年比98%	×	H28年度実績：36,556kWh H29年度実績：38,658kWh 目標対比：103.67%(+1,371kWh)	■加工事業部 省エネ化の推進
	ガス使用量	■加工事業部 使用量の把握	×	H28年度実績：563.88m ³ H29年度実績：703.74m ³ 前年比：124.80%(+139.86m ³)	■加工事業部 使用量の把握継続
	ガソリン使用量	■管理部 ・エコドライブの推奨 ・燃費データ収集継続 ・低燃費車の優先使用の 周知	○	本 社：3,500ℓ 第2工場：1,503ℓ 社用車燃費 ①20.39km/ℓ②17.86km/ℓ ③18.64km/ℓ④17.10km/ℓ	■管理部 ・エコドライブ推奨 ・燃費管理 ・低燃費車の優先使用
	灯油使用量	■ハイフ事業部 回収装置導入後の 経過観察	×	H28年度実績：1,860ℓ H29年度実績：14,057ℓ 前年比：755.75%(+12,197ℓ)	■ハイフ事業部 回収装置導入後の 経過観察継続
水資源使用量	水道使用量	■加工事業部 使用量のデータ収集継続と 漏水チェック(水道メーター)	○	H28年度実績：4,350m ³ H29年度実績：4,493m ³ 前年比：103.28%(+143m ³)	■加工事業部 使用量のデータ収集及び漏水 チェック(水道メーター)の継続
廃棄物排出量	可燃物 排出量	■管理部 可燃廃棄物量の削減 前年比95%	×	H28年度実績：988.7kg H29年度実績：948.7kg 目標対比：101.01%(+9.5kg)	■管理部 可燃廃棄物量削減 前年比95%
		■管理部 不要FAX・郵便物の計量 及び削減	○	郵便物停止数：53件 FAX停止枚数：458枚	■光事業部 可燃物排出量の削減 H27年度対比98%
	廃プラスチック 排出量	■ハイフ事業部 矯正ゴムの材質変更による リサイクル化のデータ収集継続	×	H28年度実績：1,330kg H29年度実績：1,990kg 前年比：149.62%(+660kg)	■光事業部 廃プラスチック排出量の削減 H27年度対比98%
	コピー用紙 使用量	■加工事業部 使用量の削減 裏紙使用率30%	○	白紙使用枚数：8,788枚 裏紙使用枚数：4,620枚 裏紙使用比率：34.46%	■管理部 A4用紙使用量削減 ■加工事業部 裏紙、両面印刷の推進
グリーン調達		■ハイフ事業部 グリーン調達推進	○	グリーン購入法適合品への 切り替え数：28品種	■管理部 ・グリーン購入額の把握 ・含有調査(ROHS、PFOS等)
		■光事業部 主要製品のAISデータ取得	×	H29年度目標：130品 H29年度実績：61品 目標対比：46.92%(-69品)	
製品/サービス ステンレスくずの削減		■管理部 現有材販売の推進	×	H28年度実績：¥17,363,941 H29年度実績：¥14,662,650 前年比：84.44%(-¥2,701,291)	■ハイフ事業部 ・包材のリサイクル化 ・収縮チューブ廃止 ・梱包の簡素化
		■ハイフ事業部 造管歩留りのデータ収集	○	H28年度実績：805.6kg H29年度実績：770.5kg 前年比：95.64%(-35.1kg)	
化学物質使用量		■ハイフ事業部 回収装置導入後の購入量 のデータ収集	○	H28年度実績：35.75t H29年度実績：34.00t 前年比：95.10%(-1.75t)	■ハイフ事業部 回収装置導入後の購入量の データ収集継続



■敷地内及び近隣の清掃活動
(毎朝)



■避難訓練
2017年11月



■機密紙の持込み【大宮製紙(株)様】
2017年12月



■薬品流出訓練
2018年4月



■LED照明の設置
2018年4月



■水道使用量の確認及び漏水チェック
(毎朝)

8. 環境関連法規等の順守状況の確認及び 評価の結果並びに違反、訴訟の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況

環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法令・条例等	適用内容又は規制基準値	備考	順守状況
廃棄物処理法	保管施設の表示と保管基準の順守 収集運搬業者及び処分業者との委託契約 委託契約書の保管 マニフェストの管理 マニフェストの交付状況報告	表示板(60cm×60cm) 契約書及び許可書 保存期間:5年間 A、B2、D、E票の保管 1回/年	○
静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例第8条	産業廃棄物管理責任者の選任 産業廃棄物処理の委託先の実地確認	管理責任者:高柳真一 1回/年以上	○
騒音規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例第53条第1項(第54条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
振動規制法第6条第1項 (第7条第1項) 静岡県生活環境の保全等に関する条例第80条第1項(第81条第1項)	特定施設設置届出書	空気圧縮機	○
水質汚濁防止法 第5条第1項(第6条第1項)、第7条	特定施設設置届出書 廃水の水質調査	洗浄施設/蒸留施設 1回/月	○
土壌汚染対策法	有害物質使用特定施設(水濁法)の廃止	土壌汚染調査	○
フロン排出抑制法	設置、使用、廃棄の義務 点検の実施 漏えい量の算定、報告	簡易点検:3ヶ月に1回 定期点検:3年に1回 (7.5kw以上~50kw未満の空調機器)	○
労働安全衛生法	定期健康診断 特定業務従事者の健康診断 局所排気装置設置届 局所排気装置定期自主検査 作業環境測定	1回/年 1回/半年 届出済 1回/年 1回/半年	○
消防法	ボイラー設備の届出 少量危険物 貯蔵の届出 防火管理責任者の選任(法第8条) 消防設備の設置届及び点検	少量危険物 貯蔵の届出 第4類 灯油 最大貯蔵数量950 L 防火管理責任者:高柳真一 届出済、1回/半年	○
浄化槽法	法定検査 保守点検、清掃	1回/年 保守点検:4回/年、清掃:1回/年以上	○
PRTR法	対象物質使用量管理 SDSの管理	1回/年 —	○
RoHS規制 REACH規制	顧客からの要求事項の順守	—	○
関連法規	家電リサイクル法・パソコンリサイクル法 自動車リサイクル法	家電、パソコン 社用車 エアコン、室外機	○

2. 違反、訴訟等の有無

過去3年間の違反、訴訟等はありません。

3. 近隣からの苦情

過去3年間の環境関連に関する近隣からの苦情はありません。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境活動の取組のチェック

—	活動内容	評価
管理部	可燃廃棄物量の削減 前年比95%	×
	不要FAX・郵便物の計量及び削減	○
パイプ事業部	グリーン調達推進	○
加工事業部	コピー用紙使用量の削減 裏紙使用率30%	○
	ガス使用量の把握	×
光事業部	電気使用量削減 前年比98%	×
	主要製品のAISデータ取得	×

2. 代表者による全体評価・見直し指示

項目	変更の必要性	備考
環境方針	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	特になし
環境目標・計画	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	特になし
環境活動計画	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	特になし
環境法規の対応	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	特になし
全体評価・コメント その他	化学薬品回収装置の稼働で購入量は減少しましたが、温度管理をする為に灯油の使用量が増加しました。 化学薬品減少のメリットは大幅に有りました。	

評価日：平成30年5月24日

代表者：大場 正晴